

泌尿器科

島根県の基幹病院として成人泌尿器科全般にわたり医療を提供しています。泌尿生殖器悪性腫瘍、重症尿路感染症、尿路結石などの泌尿器医療に携わります。常勤医4名、日本泌尿器科学会専門医 2名、指導医 1名です。

当科での対象疾患別の特徴

- 1、尿路結石に関しては、自然排石が不可能な症例に対して、体外衝撃波碎石術（年間50-60件）、腎尿管結石に対する経尿道的レーザー碎石術（年間20-30件）を主に施行しています。
- 2、膀胱癌は経尿道的手術（TUR-BT）を年間60-80件施行しています。筋層浸潤癌に対しては腹腔鏡下膀胱全摘除術+尿路変向術（年間2-5件）を実施しています。
- 3、腎盂尿管癌に対しては腹腔鏡下腎尿管全摘除術（年間10件程度）を実施しています。ロボット支援手術も導入しています。進行症例については化学療法なども実施しています。
- 4、腎癌に対しては腹腔鏡下腎摘除術（年間20件程度）や腹腔鏡下腎部分切除術（年間5-8件）を施行しています。ロボット支援手術も導入しています。進行癌では免疫チェックポイント阻害剤などの全身療法を行います。
- 5、前立腺癌は限局癌であればロボット支援腹腔鏡下前立腺摘除術（年間30-40件）を積極的に実施しています。その他、相談の上、放射線治療や内分泌療法なども選択しています。進行例ではアンドロゲンレセプター標的薬、タキサン系抗がん剤などの全身療法も実施しています。
- 6、副腎疾患に関しては、当院内分泌代謝科と連携し、診療しています。手術治療としては腹腔鏡下副腎摘除術（年間3-5件）を行っています。
- 7、その他：複雑性尿路感染症による敗血症の症例では救命科で入院、泌尿器科医が尿管ステント留置あるいは腎瘻造設術などの緊急手術を担当します。

症例は多岐に渡り、基礎的な知識、泌尿器科的検査、処置が十分習得できます。すべての手術に助手として参加できるので、上達が早いと思います。

是非、泌尿器科に興味をもって下さい。そして、島根県中に研修に来ていただければと思います。



島根県立中央病院